様式3

学校番号 22

令和　7　年度　学校評価書　（ 計画段階 ）

福岡県立　八幡中央　高等学校　定時制課程

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	「未来に輝く自分を創るチャンスにあふれた夜間定時制高校」 分かる・できる喜びにあふれた授業と仲間との協働を柱とする高校生活を通じて、自らの人生を主体的に切り拓くことができる力を育成します。	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に 関する方針）	・生涯にわたり自己の向上を目指し、学び続けることができる人材の育成 ・集団での多様性を認め、共感的人間関係を構築できる人材の育成 ・社会的自立を目指し、主体的な進路選択のできる人材の育成
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に 関する方針）	・生徒一人一人の学習状況に合わせた、基礎基本の学び直しから対応できる少人数指導 ・生徒の特性に応じた、積極的な個別の教育的支援 ・発達段階に応じたキャリア教育の実施による、夢と志の支援
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに 関する方針）	・努力して学び、高校を卒業するという強い意志を持つ者 ・他者を認め、自他を大切にすることができる者 ・将来の夢や目標に向かって努力する者

学校運営計画（4月）

学校運営方針	グランドデザインに則った教育実践により、豊かな人間性を身につけ、地域や社会に信頼され、貢献できる生徒を育成する。		評価 （総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
多様な生徒が在籍する定時制課程において、誰もが認められる居場所となりつつある。その一方でルールやマナー、モラルに課題もみられる。 個別の教育的支援を必要とする生徒も増加傾向にあるため、特別支援教育の視点をもち、発達支持的生徒指導を心がけていく必要がある。外部との連携や教員間の密な情報共有、職員研修を行い、全職員で課題解決にあたっていく。	1　きめ細かな学習指導	基礎基本からの学び直しを通じて学習意欲を喚起し、達成感と自己肯定感を得ることができる学習指導の充実を図る。	
	2　安全に安心して学ぶ環境づくり	発達支持的生徒指導のもと、規範意識を高めることにより、安全に安心して学ぶことができる教育環境の保全に努める。	
	3　豊かな人間性の向上	特別支援教育の視点のもと、多様性を認め、自他を尊重し、いじめや差別のない、あたたかい学校の雰囲気を醸成する。	
	4　キャリア発達の支援	系統的なキャリア教育を行い、主体的な進路選択を支援し、社会的自立と社会参画の力を育む。	
	5　教職員研修の充実	生徒の複雑で困難な状況に対応するため研修に励み、教職員個々の資質を向上するとともに、学び続ける姿勢を示す。	

様式3

	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
教務	授業規律を確立し、効果ある授業を目指す。	教材の準備、机上の整理を徹底させ、授業に集中できる教室づくりに努める。	出席率	
		出席や成績の状況等、家庭・保護者と連絡をとり、連携して就学・修学に努める。		
	基礎・基本の学力を定着させ、生徒のニーズに応じた学力の伸長を図る。	授業の内容・方法を工夫し、生徒の実態に応じた授業づくりに努める。	授業アンケート	
		すべての授業で、生徒が達成感と自己肯定感を得ることができるような授業づくりを目指す。		
生徒指導	基本的生活習慣の確立を目指し、安全で安心して学べる学習環境を整備する。	登下校時の声かけ等を通して、生徒と教職員の相互理解に努める。	いじめアンケート	
		教職員間の情報交換を密に行い、いじめや差別を許さない環境作りに努める。		
	生徒会活動を通して、主体的に取り組む姿勢と豊かな人間性の涵養を目指す。	学校行事の活性化を通して、生徒の自尊意識の向上を目指す。	学校生活アンケート	
		生徒会執行部生徒の自主性を育成し、学校行事等に主体的に関われるよう適切に指導する。		
進路指導	生徒の進路実現に向けた意識の向上を図り、主体的な自己実現力を育成する。	生徒の情報交換を積極的に行い、外部機関と連携した支援を継続的に行う。	就職率・進学率	
		生徒の発達段階に応じた進路講演会や進路ガイダンスなどを実施する。		
		卒業予定生、担任と連携をし、主体的な進路実現を目指す。		
	系統的な内容の総合的な探究の時間の実施を目指す。	進路学習の履歴となるキャリアパスポートを充実させ、生徒の進路意識を高める。	進路アンケート	
		1～3年生の総合的な探究においては自己探求に取り組み自己理解の深化を目指す。		
		4年生の総合的な探究においては進学・就職に分けた内容を実施し、進路決定率80%以上を目指す。		
研修・情報	校内外の研修による教職員の資質・能力の向上を図る。	ICT機器を効果的に活用できるよう研修等を1回実施する。	授業アンケート	
		教職員の資質・能力向上に関する内部研修を6回実施する。		
		校外研修についての案内をおこない、各職員1回ずつの参加を達成する。		
	電子黒板やChromebook等を含むICT機器の活用の推進を図る。	ICT支援員と連携し、授業等でのICT機器の使用率45%を達成する。	新入生徒宛の家庭の通信状況（ネットワーク）に係るアンケート	
		生徒への連絡手段としてclassroomを使用する。		
		classroomを活用し、生徒が相互的に授業の復習をしやすい環境を構築する。		
庶務・図書	学校環境の整備・充実を図る。	全日制・定時制との施設共用を円滑に行い、教育活動の充実を図る。	学校生活アンケート	
		奨学金等の分かりやすい案内に努め、就学並びに修学の保障に努める。		
		「ようこそ定時制へ」の作成が円滑に行えるように努める。		
	生徒の読書活動増進と図書館の利用の普及を図る。	購入図書希望調査を年に2回行う。	希望図書アンケート	
		新刊購入時は新刊案内を行う。		
		生徒が本に触れやすい取組を検討する。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。	健康診断・保健教育を通して自身の健康状態に関心を持ち、自己管理する能力の育成を図る。	生活習慣アンケート	
		ほけんだより、掲示物等を活用し、健康に関する情報発信を行う。		
		生徒保健委員会の活動を行い、主体的に生徒が保健活動に関わる機会を作る。		
	健康相談活動の充実を図る。	生徒のプライバシーを配慮しながら、生徒情報共有を教員間で行う。	心の健康相談アンケート	
		必要に応じて外部機関と連携し継続的に組織で対応する。		
		生徒と継続的にコミュニケーションをとり、生徒が相談しやすい関係性作りを行う。		

様式3

人権・同和教育	「安心して通える学校」づくりを促進する。	生徒の人権が守られる教育環境の整備に努める。	人権教育ふり返りシート	
		多様性を認め、自他を尊重し、いじめや差別のない学校づくりをめざす。		
		特設授業にかぎらず、あらゆる教育活動を通して生徒の人権感覚を育む。		
	人権教育に関する積極的な職員研修を実施する。	人権教育に関する校外各種研修会への職員全員参加をめざす。	各種研修への参加率	
		研修成果を職員間で共有し、人権感覚の涵養に努める。		
		人権に関する研修会情報の周知を行い、職員が参加できる環境を整える。		